

令和3年度 第二中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-2

		実施方針	目標	具体的な取り組み	
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	関係機関と地域課題を整理・抽出する場を設けます。		行政・生活支援コーディネーター・地域包括支援センターとで「地域づくり連絡会」を開催。 ゴミ出し困難者や外出支援についての情報共有を行い、地域にどのような働きかけができるか共同で検討する。	年4回：6月・8月・10月・12月 6月：保健福祉計画の確認 8月：ゴミ出し困難者や外出支援の状況確認 10月：地域に向けてどんな働きかけができるか検討 12月：次年度に向けてまとめ
		高齢者が介護予防に主体的に取り組んだり、住み慣れた地域で安心して過ごしていける体制づくりを支援します		しまとれの継続支援と取り組みのない地域への働きかけを行い、地域住民が主体となって介護予防に取り組みめるようにする。	継続支援：16ヶ所 新規立ち上げ：2ヶ所（中央町や松葉町にて新規立ち上げができるように働きかける）
				地域の課題を地域づくりや政策形成に結びつけていくために地域ケア会議を開催する。 重点テーマ 「同居や高齢世帯向けに『情報提供書』を作成し、緊急時の連絡先や状況が分かるように緊急時でも速やかに連絡が取れる体制を作る。」 島田市主任ケアマネ連絡会の防災委員と共同して計画を立て、試験運用を行っていく。	独居・高齢世帯の緊急時の取り組み 今年度は一部の方で試験運用を行い、評価していく。 7月民児協にて説明 7月後半より対象者に『情報提供書』配布 8月から1月まで試験運用 2月試験運用の評価票の集計を行う 3月集計結果から、課題を導き出し、次年度事業につなげていく。
選択項目	認知症施策の推進	認知症になっても暮らしやすい地域のサポート体制を整える。		チームオレンジ「きずな」の活動として企業と連携して認知症予防や介護予防についてリモートで地域をつなぎ情報発信を行う。	年2回活動（旗指・上野田・落合などをリモートでつなぐ） 10月：企画 12月・2月：実施
				認知症患者や介護者及び地域の方が気軽に相談できる機会を作る	出張相談会の開催場所と方法を検討する。 しまとれ実施場所への出張相談会を試験運用する。 アンケート実施・出張相談の評価を行う。
				第二中学校区の企業を中心に認知症サポーター養成講座の案内を配布するとともに年3回実施をする。	15事業所へ講座案内を配布するとともに講座開催を年3回実施する。
選択項目	多職種、多機関とのネットワーク構築	共生社会を目指すため、多職種・多機関との連携強化に努めます。		専門職による情報共有や連携向上を目的とした勉強会をリモートにて開催する。	専門職勉強会の開催：年4回（理学療法士・管理栄養士・歯科衛生士・薬剤師・保健師・主任ケアマネ・社会福祉士）
		センターの認知度を高めるための周知活動	住民にとって身近な相談窓口となるように、積極的に地域に出向き周知活動を行います	第二中学校区地域包括支援センター独自のお便りを作成し、地域の事業所や各種団体の講座開催時などに配布し周知を促す。	年1回発行する
		介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	地域における関係機関等との連携体制づくりや介護支援専門員との連携強化を進めます。	ケアマネ連絡会を開催し、地区のケアマネジャーとの連携、適切なマネジメントを支援する。	連絡会 年3回 7月 令和3年度の島田市の総合事業の確認及び市との情報交換 居宅介護支援事業所連絡会 9月 しまだ城西クリニックとの情報交換 居宅介護支援事業所連絡会 11月 困難事例検討と情報交換 居宅介護支援事業所連絡会